

～ 30年前、水戸芸術館でシューベルト《冬の旅》の名唱を聴かせた名歌手が帰ってくる～

「クリストフ・プレガルディエン(テノール) & 渡邊順生(フォルテピアノ)」開催のお知らせ

ドイツ・リート伝達者として、またバッハの受難曲のエヴァンゲリストとして世界的な名声をほしいままにしてきたテノールのプレガルディエンは、古希を迎え、シューベルトの遺作となった歌曲集《白鳥の歌》にあらためて取り組みます。我が国を代表するフォルテピアノ奏者であり、ピリオド楽器による演奏の開拓者でもある渡邊順生という、またとないパートナーを得て30年ぶりに水戸芸術館に帰ってきます。

シューベルトの《白鳥の歌》は、作曲者の死後にまとめられた歌曲集であり、連作が意図されたものではありません。プレガルディエンと渡邊は、今日一般的となっている曲順を自由に入れ替え、さらに《白鳥の歌》には含まれない歌曲も加え、シューベルトの後期の名歌を独自の視点で構成しました。

なお、本公演ではナネット・シュトライヒャーが1818年に製作したフォルテピアノが使用される点も注目に値します。19世紀始めのウィーンにおける最高の楽器製作者とも言われますが、現存数は少なく、生でその素晴らしい音に触れられる貴重な機会となります。

つきましては、貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

クリストフ・プレガルディエン(テノール) & 渡邊順生(フォルテピアノ)

2026年4月5日(日)

14:30 開場・15:00 開演

【会場】水戸芸術館 コンサートホールATM

【料金】全席指定/A席6,000円

U-25 (25歳以下) 2,000円

【曲目】フランツ・シューベルト (1797～1828)

悲しみ D772 (コリン詩)

別れ (レルシュタープ詩 / 《白鳥の歌》 D957 第7曲)

セレナード (レルシュタープ詩 / 《白鳥の歌》 D957 第4曲)

愛の使い (レルシュタープ詩 / 《白鳥の歌》 D957 第1曲)

秋 D945 (レルシュタープ詩)

遠い地にて (レルシュタープ詩 / 《白鳥の歌》 D957 第6曲)

すみか (レルシュタープ詩 / 《白鳥の歌》 D957 第5曲)



【チケット取り扱い】 好評発売中

水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

【電話】チケット予約センター Tel.029-231-8000

【WEB】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

ほか

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

【お問合せ】企画について：水戸芸術館音楽部門(担当：関根) Tel.029-227-8118

ご掲載について：水戸芸術館広報係(担当：君島、福島) Tel.029-227-8111

E-mail: kouhou@arttowermito.or.jp

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>